

審議会等の会議結果報告書

課所名 生涯学習課 生涯学習係

会議名 令和4年度第1回諏訪市社会教育委員会議

開催日時 令和4年5月11日(水)午後7時から午後8時45分まで

出席者

(敬称略)
(出席者) 委員:小池玲子(議長)、河西秀樹(副議長)、小口秀孝、太田直行、田村方子、
中澤和夫、後田高幸、平林富美子、宮坂則子
教育委員会:三輪教育長、関教育委員、細野教育次長、宮阪生涯学習課長、
柿崎スポーツ課長、小林教育総務課長
事務局:生涯学習係 関沢係長、笠原主査、丸山主任
(欠席者) 飯島千種
(傍聴者) なし

資料

会議資料(令和3年度各課事業報告、令和4年度各課事業計画、令和4年度各課社会教育団体への補助金交付一覧、令和4年度社会教育委員関係事業予定表)、諏訪市教育振興基本計画改訂スケジュール(予定)等、長野県生涯学習推進センター研修資料、二十歳のつどい(仮称)チラシ、種まくブックチラシほか

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 教育長あいさつ
4. 自己紹介
5. 正副議長の互選
6. 議事

(1) 令和3年度各課事業報告について (各課長、教育次長より主要事業について報告)

- ①生涯学習課 (生涯学習係、文化財係、公民館(別館含む)、図書館、信州風樹文庫、博物館、美術館、原田泰治美術館)
- ②スポーツ課 (スポーツ振興係)
- ③教育総務課 (青少年係)
- ④駅前交流テラスすわっチャオ(企画運営係、放送大学)

【委員からの意見・質疑応答】

委員) 子どもたちの自然体験の場がコロナでかなり奪われてしまっているように感じている。自然と遊ぶつどいなど開催していただいているが、なお一層小学生や保育園、森林体験学習館などの施設を使ってもらい、自然の中で子どもたちの体験を増やしていただければと思う。図書館や美術館について、人が来るのを待っている所であったものを、来館者を増やしてもらう外に出る取組を考えてもらうようお願いしたところ、色々考えていただき積極的に外に出ていたり、コラボしたりしていただいととてもうれしく感じた。今回、すわっチャオで御柱の配信をしていただいですばらしい企画だと思った。時間のある時により多くの方に見てもらい学べる機会が増えたことはよいことだと思った。スポーツ課の高齢者が子どもと遊びながらスポーツができることが積極的にできると良いかと思った。

委員) 公民館の運営については、厳しいコロナ禍の運営となっているが、社会教育の転換期を迎えていると感じている。学習のメニューを増やすというよりはあるメニューの質を高めることを考えていった方がよいと思う。質を高めるためにやり方や手法も検討してもらえたと思う。

(2) 令和4年度各課事業計画について (各課長、教育次長より事業計画について説明)

- ①生涯学習課 (生涯学習係、文化財係、公民館(別館含む)、図書館、信州風樹文庫、博物館、美術館、原田泰治美術館)
- ②スポーツ課 (スポーツ振興係)

③教育総務課（青少年係）

④駅前交流テラスすわっチャオ（企画運営係、放送大学）

【委員からの意見・質疑応答】

委員）トレンドや定番の内容についてはある程度人が集まるが、人が集まりづらいがやらなければならないメニューについて、仕分をしてそれぞれの手法を考えていただければと思う。

委員）教育委員会の組織を結ぶということがとても重要だと感じており、普段行かない場に訪れることで繋がりができることも期待できると感じた。

委員）コロナ禍の中で、子どもたちが人との関わりが少なくなり、高齢者の方も同様に外に出る機会が減ってしまっている。一番は人との関わりが重要であると感じた。それと同時に経験不足や文化の伝承というものも少なくなっている中で、子どもや高齢者がどうやって地域と関わっていけばよいかということを心に置いておいていただければと思う。外国籍の子どもが増えてきている中で、講座等への参加はあるか。

市）今のところほとんど参加者がいない状況である。

委員）外国籍の方も気楽に参加したいという気持ちもあると思いますので検討いただければと思う。

委員）障がいのある方など様々な方が参加しやすいような手法をとっていただければと思う。

委員）市民が気軽に集まれる市民ギャラリーができるといいなと思った。新成人に本を送るだけではなく、そこまでの過程や家族で本を読む日なども絡めていい方向に向かっていただければと考える。図書館に関しては、上田や中軽井沢の駅前では図書館の機能を有しているが、すわっチャオも駅前活用として本を返すことのできる機能や、寄贈図書や廃棄図書の受入れができるなど身近な所に本があるといいと思う。

(3) 令和4年度各課社会教育団体への補助金交付について（生涯学習課長より一括説明）

【委員からの意見・質疑応答】

委員）交付金額と交付団体は、どのように決定しているのか。

市）それぞれの補助金取扱基準等取扱基準に基づいて対象とする団体及び補助額を定めている。

委員）固定化しているのはと思うので検討してもらいたい。

市）終期を設定しているのので、その都度補助金が必要なのか判断していく。

（議事終了）

7. 報 告

(1) 新成人種まくブックプレゼント事業について

(2) 二十歳のつどい（仮称）の実施について

8. そ の 他

(1) 社会教育委員関係事業予定について

(2) 諏訪市教育振興基本計画について

9. 閉 会